

情 報 公 開 文 書

研究の名称	メンズヘルス疾患症例の後ろ向き研究による臨床的検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	渡部明彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 1997年3月1日～2020年4月30日の期間に性機能症状、男性更年期症状もしくは不妊を主訴に富山大学附属病院泌尿器科メンズヘルス外来（旧：性機能外来、不妊症外来）を受診したメンズヘルス疾患を有する患者さんが対象です。</p> <p>【研究の目的・意義】 メンズヘルス外来を受診する患者さんは増加傾向にあるものの、前立腺肥大症や癌をはじめとした他の泌尿器科疾患と比較すると非常に少ないのが現状です。メンズヘルス疾患を有する患者さんの背景や治療経過を検討することによって、今後のメンズヘルス診療に有意義な情報を提供することが可能になります。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向き観察研究です。 下記情報をカルテから収集し、治療前後の症状を評価します。</p> <p>(1)診療情報 年齢・性別・身長・体重・パフォーマンスステータス（PS）・既往歴・家族歴・嗜好歴・合併症・疾患名・身体所見・血液検査結果・尿検査結果・精液検査結果・ホルモン負荷試験結果・CT/MRI/超音波/一般レントゲン画像所見・勃起機能検査・各種問診票スコア</p> <p>(2)治療内容・診療経過・治療に伴う有害事象</p> <p>(3)転帰情報：症状変化（軽快、不変、増悪）を確認した日</p> <p>【研究期間】 承認日～2030年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や学術雑誌で発表。希少症例においては症例報告をします。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	上記【研究の方法】の(1)～(3)の情報項目をカルテから収集します。他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 腎泌尿器科 講師 渡部明彦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 腎泌尿器科 講師 渡部明彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7372 FAX 076-434-5039 E-mail urology@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 腎泌尿器科学講座 渡部明彦</p>

